

基本方針策定の背景

「大鳴門橋自転車道の開通」

年間約65～75万人
うちサイクリスト約9万人

- ・鳴門公園へのサイクリスト、観光客の増加予想
- ・観光地として魅力をPRできる絶好の機会

国内外から選ばれる、鳴門公園及び周辺地域の
「受入環境整備」「魅力向上」を推進し、
自転車道開通の効果の最大化を図る

対象となる利用者類型

	手段	移動距離
サイクリスト (自転車)	持込自転車 ロードバイク・クロスバイク	50km～100km
ポタリスト (自転車、観光)	レンタサイクル Eバイク、クロスバイク	10km～30km
一般観光客	レンタサイクル（ミニベロ、 キッズバイク等）、徒歩	5km以内

施策の目標：安全で地域の魅力を満喫できるサイクルツーリズムの実施

主な取組

受入
環境
整備

鳴門公園	大鳴門橋架橋記念館「EDDY」	周辺地域
<ul style="list-style-type: none"> ○公園内の環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板の設置、路面整備 ・歩行・走行ルールの運用 ・周遊を促す施設（モニュメント等）の設置 ○レンタサイクルの実施 ○駐車場・駐輪場の整備 ○ユニバーサルデザインによる施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・千畳敷未舗装部分の舗装 ・段差や階段等の改善 ・休憩施設、トイレの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクルステーションの機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの実施 ・更衣室、荷物預かり等に必要なスペースの確保 ○憩いスペースの整備 <ul style="list-style-type: none"> ※発災時の一時避難として使用できるように ○既存展示の見直し <ul style="list-style-type: none"> （効果的な展示内容・手法の検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ○周遊ルートの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板の設置、路面整備 ・デジタルマップ等によるサイクリングルートの情報発信 ○サイクルスポットの拡充 ○休憩等施設のサイクリスト受入環境整備 ○レンタサイクルの実施 ○駐車場・駐輪場の確保 ○淡路側とのアクセス向上（バス、海上輸送）
<ul style="list-style-type: none"> ○EDDYを核とした観光案内機能の強化 ○自転車道から来訪された方への歓迎看板等の設置 ○リピーターを増やすためのイベントの実施 ○淡路側とのコラボによるマスコットキャラの作成やプロモーション ○教育旅行、団体旅行向けの情報発信 ○外部人材の活用によるブランド力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクリスト・観光客の目線による情報発信の強化 ○ユニバーサルデザインによる施設整備（多言語対応、授乳室等） ○屋上展望の景観を活用したモニュメントの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○周遊イベントの実施（スタンプラリー、フォトランナー） ○新たな周遊コースの設定 ○広域サイクリングとの連携（アワビチ、四国一周等）

魅力
向上